

みんなで守ろう岐阜市の自然

岐阜市自然ふれあい地域ビジョン策定ワークショップ 第17号 平成18年5月発行

はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。このような状況の中、現在ある岐阜市の貴重な自然環境を、次世代に残し伝えることが、私たちの役割です。

そのための第一歩として「**岐阜市自然ふれあい地域ビジョン**」策定に取り組みます！！



春の達目洞保全活動（5月5日開催）

- ・井之口トンネルからの水の引き込みを行いました。
- ・今日の稲作作業

井之口トンネルからの水の引き込みを行いました。

5月5日（こどもの日）に、達目洞で水田に水を引き込むためのパイプ埋設作業を行いました。水田に引き込む水は井之口トンネルから湧き出す地下水です。この地下水は、道路沿いに整備された側溝に接続され逆川下流に直接流れ込むようになっていました。その水を達目洞の水田や湿地に引き込むため整備です。作業にあたっては、閉め固められた地面をつるはしで掘削し、パイプを埋設していきました。



ヒメコウホネが
咲き始めました。



掘削をして引き込みパイプを
埋設していきました。



井之口トンネルから流れる水を
引き込む設備を整備しました。



その後、パイプを埋める箇所が確保できた段階で、水が流れるかどうか試してみると、勢いよく水が流れてきました。あとは、このパイプを引き込みたい場所まで延長していく作業です。

実際、パイプを延長していくといっても、パイプの維持管理作業を簡単にするための設置の工夫や、引き込んだ水を目的にあわせて使い分けられることができるようにする工夫を行って、延長していきましました。その結果、今まで干上がっていた水路に大量の水が流れ込むようになり、稲作にも活用出来る目処が立ちました。

トンネルから流れる水を引き込むために、パイプを使って水を引き込んでいきます。



パイプの長さが足りないので、途中でパイプをつないで、水の引き込みを延長しています。



水を引き込むことにより、枯れていた水路に水が流れるようになりました。



水路に水が満たされました。

今日の稲作作業

今回は、前回耕すことができなかった場所を、トラクターで耕していきました。このときは天候にも恵まれ、トラブルもなく耕すことができました。

おわりに

稲作をするためには足りなかった水も、パイプを使った湧き水の引き込みを行うことで確保することができました。また、水田に水を引き込むための準備も徐々にではありますが、進んでいます。次回あたりから、水を引き込むことができるのかどうか楽しみです。皆様のご参加をお待ちしております。



水田の様子をうかがいながら、トラクターで耕していきます。

自然ふれあい地域ビジョンに関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 みどり自然室 担当：吉村

TEL：058-265-4141 FAX：058-267-1374

E-mail：midori@city.gifu.gifu.jp

みどり自然室 HP アドレス：http://www.city.gifu.gifu.jp/splash/midori/index.html